

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
児童発達支援 フタール岸和田		令和7 年 4 月 30 日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	0	個別支援と集団支援で活動の場を分けている。またパーティションを用いてエリアを区切る等、状況に応じて必要なスペースを確保している。	午睡のスペースについて、保護者からのニーズがあるため今後更なる環境整備に努める。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	0	今年度の人員配置基準を満たした人員配置を行い、支援しているスタッフの中には、言語聴覚士、児童指導員、保育士の有資格者を配置している。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	0	フロア内は全室バリアフリーとなっている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	0	支援終了後または支援開始前に毎日清掃業務を行っている。また、おもちゃ等の消毒を実施している。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	0	個室での対応のほか、パーティション等を用いて空間を区切る等安心して過ごせる場の提供を行っている。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6	1	日々、支援開始前に打ち合わせを行っている。また支援終了後の振り返りが難しい場合は翌日の朝礼時に情報共有をおこなっている。	時間に限りがあることから、より効率的な目標設定と振り返りができるようミーティングを構造化していく。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	頂いた意見をもとに改善に努めている。提供記録の閲覧に加え、施設の事前利用申込みもWEB上で出来るようになっている。	今後も保護者等の意向等の把握、改善に努めていきたい。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	日々のミーティングやスタッフ会議等で職員の意見を把握する機会を設けている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	5		今後、利用時期について検討していく。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	6	1	法人内の研修だけでなく、行政や他団体主催の研修などオンライン形式も含め積極的に参加している。また参加できなかったスタッフに対して、参加したスタッフが研修内容を伝える機会を設け、内容を共有している。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0	事業所内で内容を吟味検討し、支援プログラムを作成している。作成した支援プログラムは、事業所ホームページにて公表している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7	0	本人や保護者からのヒアリング内容、提供された資料等を総合的に分析し、児童発達支援計画を作成している。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0	児童発達支援管理責任者が作成した原案をもとにスタッフ間で共有、検討している。必要に応じて内容の変更・更新を行っている。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0	児童発達支援計画についてスタッフ間で情報共有をする機会を設け、計画に沿った支援が提供できるよう努めている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	0	発達検査等の検査結果を保護者に提供していただき、日々の子どもの様子や保護者からのヒアリングなども含め総合的に分析している。	

適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0	本人支援に対しては5領域を考慮したプログラムを作成している。さらに本人支援だけでなく、家族支援、移行支援、地域支援・地域連携ができるプログラムを作成している。また季節の行事についても積極的に企画・参加をしている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0	スタッフ会議にて活動プログラムを立案し、留意点や安全面への配慮等について検討・調整を行い、実施に至っている。必要に応じて試作や試行も実施している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0	利用児童の発達段階に応じて活動内容を調節している。また、複数スタッフで意見を出し合い、プログラムが固定化しないよう努めている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7	0	子どもの状況や発達段階に応じて個別支援と集団活動を組み合わせ、児童発達支援計画を作成している。作成した計画書に基づき支援を実施している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0	支援開始前に必ず打ち合わせを行い、送迎を含む一日の支援の流れや注意点、支援内容、前日からの引継ぎ事項等を確認、共有している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	0	子どもの様子や連絡事項等を共有する時間を設けている。	時間に限りがあることから、当日に振り返りが出来ない場合がある。短時間でも振り返りができるようミーティングを構造化していく。共有事項については記録を残す、翌日のスタッフに引き継ぐ等、スタッフ全員に周知するよう努めている。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	支援時間中の記録を保存している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0	モニタリングの実施、計画書の見直し等を定期的に行っている。保護者との面談時は児童発達支援管理責任者だけでなく直接支援にあたるスタッフも同席し、日々の子どもの様子や目標の達成度、今後の課題等について検討、必要に応じて見直しを行っている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0	相談支援事業所から依頼の担当者会議には積極的に参加している。会議には児童発達支援管理責任者だけでなく、当該児をよく知るスタッフが参加している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	0	担当者会議や保健センターの担当者との情報共有も含め、積極的に関係機関との連携を行う体制を整えている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	0	保育所や幼稚園からの依頼があった場合は会議に参加し、情報共有に努めている。	情報共有の為に担当者会議を呼び掛けるなど、今後積極的に取り組んでいく予定。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	1	今後必要に応じて行っていく予定。	こちらからの呼び掛けには至っていないが、保護者や学校等から希望がある際には積極的に情報共有を行っていく。
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
		(31は、事業所のみ回答)				現状そのような機会がないが、今後は必要に応じて助言や研修の機会を利用していく。

	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	2	5		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他の子どもと活動する機会があるか。	7	0	地域が主催するイベントの情報を積極的に取り入れ、可能な限り参加することで地域の子どもと活動をとにする機会を設けている。	引き続き活動の場を探し、参加していきたい。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	送迎時に保護者に一日の様子を伝える時間を設けている。またサービス提供記録には一日の活動内容を細かく記載し、必要に応じて写真等の添付をしている。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	3	日々の様子を共有する中で、保護者の悩みに寄り添い理解に努めている。その際には少しでも生活や関わりに活かせることを目的とした助言を行っている。	子どもの様子を共有する中で、声掛けや支援方法などを適宜保護者にお伝えしている。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0	契約時に重要事項説明書を用いて「事業所の方針、支援内容、個人情報の取り扱い」などをはじめ、「利用者負担」「送迎」等の説明を行っている。また日々の連絡方法や緊急時の対応等について細かく説明している。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0	児童発達支援計画書を作成する前に本人と家族の意向についてヒアリングを行っている。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7	0	モニタリングで共有した目標を児童発達支援計画に明文化し、面談にて保護者に説明を行ったうえで同意、署名をしてもらっている。	面談が難しい場合には送迎時に時間をいただいて説明、同意をもらっている。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0	電話・LINE・送迎時の会話等、家族が気軽に相談できる体制を整えている。必要に応じて面談を行っている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	2	保護者やきょうだいが参加出来るイベントを企画、実施した。	今後は定期的に企画・実施していきたい。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0	受付担当（管理者）を設定している。申入れがあった場合には、管理者を中心にスタッフ間において原因と改善策を検討し、迅速に対応している。	対応の体制について、スタッフ間において定期的に共有を行い、今後も迅速かつ適切に対応していけるよう努める。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	0	インスタグラムを活用し、日々の活動の様子を積極的に発信している。	WEB上で活動概要や行事予定を定期的に配信出来るよう体制を整備していく。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0	個人情報に関する書類やデータは鍵付きキャビネットに保管している。スタッフの入社時・退社時には秘密保持に関する誓約書を交わし、個人情報保護法の観点から意識を高められるよう促している。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0	保護者にはサービス提供記録以外にも必要に応じてLINEや電話等で連絡調整をしている。また、児童に対しては必要に応じて視覚支援を取り入れている。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	3		方法・目的を精査し、検討していく。
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	1	常に確認ができるようにスタッフルームに保管している。	マニュアルの内容については適宜修正・更新をしていく。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0	災害時の避難場所の確認や非常災害を想定した避難訓練を実施している。	地域の社会資源を活用し、外部講師を招いたスタッフ向けの研修の開催の機会を検討、実施していく。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	0	契約時の聞き取りに加え、書面にて服薬やアレルギー、緊急時の搬送先の確認を行っている。	てんかん発作等があった際の保護者への連絡方法や搬送方法について、当該児童が利用する際に都度スタッフ間で共有している。

非常時等の対応	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	0	アレルギーの有無について聞き取りを行い書面にて確認している。	現在医師の指示所による対応が必要な児童は在籍していない。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0	作成した安全計画をもとに、通常支援からスタッフの役割分担を決定し支援にあたっている。また事業所外支援については、安全確認のための下見を行い、あらゆる想定を行って安全に配慮している。保護者に対しては、災害時の伝言ダイヤルの使い方を周知し、緊急避難所についても共有を行っている。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	0	契約時に保護者に丁寧に説明を行っている。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	1	ヒヤリハット事例を作成し、共有している。	事例としてあがった内容をスタッフ間で共有し、よりよい支援に繋げていく。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	虐待の防止と対応の手引きを作成し、周知している。	虐待防止の為の対策を検討する委員会を開催するとともに、その結果について研修の機会として周知していく。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7	0	契約時に保護者に丁寧に説明を行い「緊急性・切迫性・一時性」の説明をし同意をもらっている。	定期的な確認・共有をしていく。